

最大限のパフォーマンスをプレゼント

北山台地区在住

半田 清春さん

町で最高位の町表彰条例に基づく表彰(教育文化功労)を受賞された半田清春さん。

スポーツ指導者として30年以上、その他にも北山台自治会長などを歴任し、現在も民生委員・児童委員として活躍されています。



今回は、そんなバイタリテイ溢れる半田さんの行動力の源や素顔に迫るお話を伺いました。



期待に応え続けて40年以上

「保証人とお金を貸すこと以外で『頼まれたら断らない』これが私のモットーです」と笑顔で話す半田さん。昭和55年に町に転入され、翌年の町民体育大会への出場をきっかけに、体力づくり推進委員を務めたことを皮切りに現在まで1年も途切れることなく各種委員を歴任されています。その他にも、町の介護予防教室では、レクリエーション指導の経験を生かして、自作のクイズを用意して、参加者がより楽しく教室に参加できるようにご協力いただいています。

「頼まれるということは期待されているということですから、その期待に応えたくありませんよ。私ができる最大限のパフォーマンスをプレゼントしています」と話すとおり、皆さんの期待に応え、喜んでもらうことに、いつも全力で取り組んでこられたそうです。



やり遂げる信念と規格外の探求心

半田さんがやり遂げるのは役職だけではありません。趣味の折り紙にもその性格がよく表れています。

昨年、製作期間4年間の超大作の『キューブパズル(エネオミオの敷き詰め)』が完成しました。これは、一辺1.5cmの立方体(キューブ)を全て異なる組み合わせで9個

のキューブを繋ぎ合わせます。その組み合わせはなんと1,2805種類、キューブの総数は1万個以上。それらが綺麗に枠内にきっちり納まる精巧で緻密な作品です。

「自分の身長より大きい作品となることは分かっていましたが、どうしても自分で作ってみたいと思ってしまっんですよね」という規格外の探求心の持ち主。それでも最後までやり遂げられるのは、半田さんの信念の成せる業だと感じました。

今回、これまでに製作した作品の一部をお披露目する個展が開かれますので、皆さんにもぜひご覧いただきたいと思えます。

半田清春の 小さな My World 展

【展示期間】

2月19日(土)、20日(日)
午前10時～午後5時

【展示場所】

北山台コメセン

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となります。

【問い合わせ先】

0561・39・2500